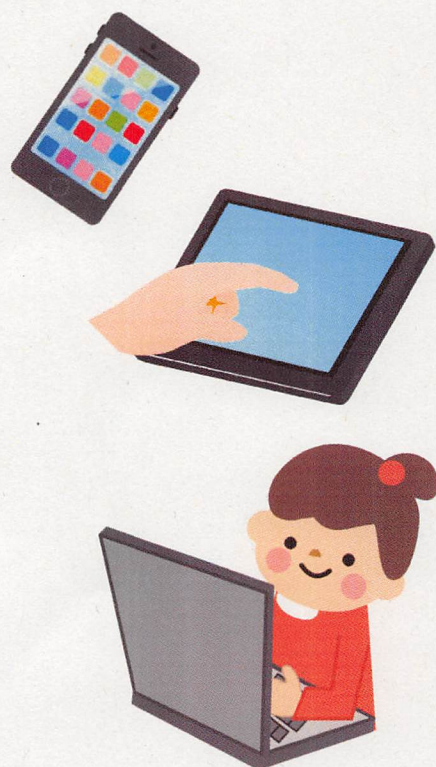


# 調査へのご協力をお願い

## 産科看護職を対象とした虐待予防のための教育プログラムの開発

### 調査の目的と意義

この調査では、産科に携わる助産師や看護師を対象とした、虐待事例への支援のための e-learning（ネットワークを用いた学習形態）による学習プログラムを開発することを目的としています。皆さまからいただいた貴重なデータをもとに、この教育プログラムの普及に努め、周産期看護全体の虐待対応への意識向上や虐待事例の予防に繋がっていきたくと考えています。臨床実践でご多用のところと存じますが、ご協力の程お願い申し上げます。



### 対象

分娩を取り扱う病院・診療所・助産院に勤務経験のある看護職  
ただし、既に退職し将来的に分娩を取り扱う施設への再就職予  
定のない方、保健師として地域保健に携わっている方は除きます

### 内容

虐待事例への支援や虐待予防のための取り組みに関する  
e-learning（ネットワークを用いた学習形態）による  
教育プログラムを受講していただけます。e-learning 実施前後の  
クイズ、実施後のアンケートに回答いただけます

### 所要時間

約 2 時間（自分のペースで進めることができます）

### 準備いただくもの


パソコン（スマートフォンやタブレットでも可能ですが、パソコンでの  
実施をおすすめします）、インターネット環境

### 謝金

薄謝ではありますが、1000 円分のクオカードを郵送いたします

### お申し込み方法

以下の URL にて、調査の詳細についてご案内いたしますので、アクセスしてください。

<https://goo.gl/forms/x0TEz5dvKs1Sw6rN2> 



研究者：片岡弥恵子、馬場香里（聖路加国際大学大学院）

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

（お問合せ先）E-mail: [kaoribaba@slcn.ac.jp](mailto:kaoribaba@slcn.ac.jp)